

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公表番号】特表2013-508269(P2013-508269A)

【公表日】平成25年3月7日 (2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-534113(P2012-534113)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/14 (2006.01)

A 6 1 K 31/7004 (2006.01)

A 6 1 K 31/716 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 33/14

A 6 1 K 31/7004

A 6 1 K 31/716

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 15/00

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年9月5日 (2016.9.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガードネレラ・バジナリス (Gardnerella vaginalis) に起因する細菌性膣炎を、ラクトバチルス・アシドフィルス (Lactobacillus acidophilus) を増殖させることで、治療するために、薬学的に許容される担体と共に有効量の融解 NaCl、およびブドウ糖の化合物を有効成分として含む組成物であって、

前記融解 NaCl、およびブドウ糖の化合物は、1 : 1 - 3 (w / w) の比率で混合され、

前記融解 NaCl が、天然塩を原料とし融解温度が 800 ~ 1000 で融解時間が 1

2 時間以上 4 8 時間以下である融解 N a C l であることを特徴とする、
皮膚外用組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組成物であって、該組成物は膿錠剤組成物または洗浄液組成物である組成物。

【請求項 3】

薬剤の製造における、融解 N a C l、およびブドウ糖の化合物を有効成分として含む使用方法であって、

前記融解 N a C l、およびブドウ糖の化合物は、1 : 1 - 3 (w / w) の比率で混合され、

前記薬剤は哺乳動物におけるガードネレラ・バジナリス (Gardnerella vaginalis) に起因する細菌性膣炎を、ラクトバチルス・アシドフィルス (Lactobacillus acidophilus) を増殖させることで、治療することを目的とし、

前記融解 N a C l は、天然塩を 8 0 0 ~ 1 0 0 0 の範囲の温度にて 1 2 時間 ~ 4 8 時間 の間融解させて調製されることを特徴とする、
使用方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 4】

実験例 1 . アシドフィルス菌の成長に対する効果

実施例 1 において調製した発明化合物 (S G 1) のラクトバチルス・アシドフィルス (Lactobacillus acidophilus) の成長に対する効果を試験するために、文献 (Choi , J . G . ら、Antibacterial activity of Ecklonia cava against methicillin-resistant Staphylococcus aureus and Salmonella spp . , Foodborne Pathog . Dis . , 2 0 1 0 (Apr .) : 7 (4) , p p 4 3 5 - 4 4 1) に開示の手順に従って以下の試験を実施した。